

入院診療計画書② 人工股関節置換術を受けられる方へ

ID：患者ID

新規作成日：新規作成日

氏名：氏名

(大腿部頸部骨折地域連携パス対象)術後の転院調整を行わせていただきます

月日				～	～
経過	手術前日	手術当日	術後1日	術後2日～10日	術後11日～14日 退院
目標	入院・手術に対するオリエンテーションが理解できる	不安が軽減し手術を受けられる 手術後の異常・痛みを訴える事ができる 尿管による合併症を起こさない	手術後の異常や痛みを訴えることができる 尿管による合併症を起こさない	痛みが和らぎ歩行ができる リハビリに意欲がある	脱臼を予防する為の方法が理解できる 退院可能な日常生活動作を獲得できる 不安なく退院できる。
注射		・手術前に点滴をします(手術が8時半予定の方は手術室で行います)。 ・点滴は翌日まで行います。	食事が十分にとれれば点滴終了です。		
内服	・お薬を確認します。 ・お薬・お薬手帳をお持ちください。 ・薬剤師が薬の指導に伺います。	・お薬は麻酔科医に指定されたもののみ内服します。 ・手術後は内服は禁止です。 ・痛みが強い時は痛み止めを使います。	・痛み止めの内服が始まります。 ・中止薬がある場合は再開の確認をします。		
検査	 採血	 手術後に採血	 朝、採血	 術後7日に採血	 術後14日に採血
射線		 手術後に股関節X線撮影		 術後7日に股関節X線撮影	 術後14日に股関節X線撮影
処置	手術側の左右を示す印をつけます。 	・術後は傷口に血抜きが入っています。 ・酸素マスク・心電図モニター・血栓予防の機械を足につけます。	・状態が安定していれば、酸素マスク・心電図モニターを外します。 ・起立ができれば血栓予防の機械は外します。	・術後2日目に傷の消毒をします。 ・血抜きを抜きます。 ・術後7～10日で抜糸をします。 	
安静度 リハビリ	 ・制限はありません。 ・必要時看護師が付き添います。	 ・手術後は翌朝までベッド上安静です。	 ・起きることができます。 ・リハビリを始めます。	 ・歩行器歩行ができます。 ・動作が安定するまでは看護師が付き添います。 ・リハビリ室で訓練が始まります。	 ・杖歩行の訓練をします。 
食事	 21時から飲んだり食べたりできません。	 ・術前は飲食できません。うがいをすることはできます。 ・手術後は覚醒の程度、お腹の動き、嚥下機能を確認して問題なければ飲水が始められます。開始時間は看護師に確認してください。	 お腹の動きを確認してから食事再開です。		
清潔	シャワー浴をします。自宅で入浴された方は看護師にお伝えください。	肺炎予防のため手術前に歯磨きを念入りに行ってください。	身体を拭きます。	状態が安定していればシャワー浴ができます。	
排泄	排便の確認をします。	・尿の管が入っています。 ・排泄はベッド上です。		術後2日で尿の管が抜けてトイレでできます。	
患者様及びご家族への説明 生活指導	・入院・手術のオリエンテーションをします。 ・同意書・T字帯をお持ちください。 ・パンフレットで、脱臼予防について説明します。 ・スリッパではなく履きやすい靴・靴べらをご持参ください。 ・麻酔科医の診察があります。 ・手術室看護師の訪問があります。 ※65歳以上の方は介護保険申請を検討してください。	・点滴前に手術着に着替えます。 ・ご家族は手術30分前にお越しください。 ・手術中家族は病棟内でお待ちください。 ・脱臼予防の為、寝返りは看護師が介助しますのでナースコールしてください。 ・手術後は帰室後1時間・2時間後以後4時間ごと検温に伺います。	退院調整を行っていきます。	できるだけ車いすではなく歩行器などを使用していきます。 ☆当院は急性期の病院です。退院目標日までに退院できない場合は回復期や療養型の病院に転院のご相談させていただきます。リハビリ状況をみて調整をさせていただきますのでご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。	・術後11日～14日で退院です。退院日をご相談ください。 ・退院は9時半頃です。 ・看護師から退院・退院後の生活、次回外来について説明があります。